

ホストタウンの取組みについて

「ホストタウン」とは東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を国が登録する制度です。

本市は、韓国、オーストラリア、スペイン、ポルトガルとのホストタウン登録を受けています。

(1) パラスポーツ(車いすバスケ)体験会の実施

本市では、オリンピックを契機にスポーツを通じて、年齢、性別、能力、障害の有無に関係なく多様な参加者が交流できる場の創出に取り組むこととしています。

多くの方に、障がいの有無に関わらず、共生しあう社会の実現と、障がい者スポーツの「視野拡大」、障がい者スポーツの魅力と可能性について、理解を深めること目的とし、パラアスリートによるスポーツ体験会を開催しました。



(2) カヌースプリント競技事前合宿の実施

東京 2020 オリンピック競技会に向けた、オリンピック代表チームの事前合宿について、2019年11月スペインカヌー代表チーム、同年12月ポルトガルカヌー代表チームの京丹後市での事前合宿が決定しています。



1 事前合宿の概要

- (1) 参加人数 スペインカヌー代表チーム 選手(13)・スタッフ(6)最大 19人
ポルトガルカヌー代表チーム 選手(8)・スタッフ(6)最大 14人
- (2)実施会場 京丹後市久美浜湾カヌー競技場周辺
- (3)合宿期間 本大会開催直前の10日前後 (2021年7月19日~29日頃)

2 期待される効果

- ・トップアスリートの練習見学や市内のジュニア選手等に対する技術指導による地元カヌー競技者の競技力向上
- ・滞在期間中における市民との文化交流、国際交流の推進
- ・オリンピック開催に向けた、市民の機運醸成
- ・今後の大会や合宿誘致に向けた本市の知名度のアップ